

分会情報

J R 東海労大阪仕業検査車両所分会
No. 37 2011.08.23
発行責任者 柿本 克彦
編集責任者 教 宣 部

脱原発シリーズ！ No.4

菅直人首相 「脱原発」方針を表明！

福島第一原子力発電所の事故で原発の「安全神話」は崩壊しましたが、原発に対する賛否両論が出ているのが現状です。

そのような中、7月13日、菅直人首相は「原発に依存しない社会」を目指す「脱原発」方針を表明しました。

首相 原発コストの見直しを示す！

7月20日、衆議院の予算委員会で菅直人首相は、「これまで言われてきたコスト自体が、現実とは大きく違うのではないか。少なくともかなり高いもので再計算しなければならない」とコスト計算を見直す考えを示しました。

太陽光や風力などの再生可能エネルギーは、発電量が気候に左右され安定的に供給するのが困難だと言われてきましたし、現在の発電コストも、原子力が1時間あたり5円であるのに対し、太陽光は49円、風力は9～14円とかさみ、規模を大幅に拡大するには課題が山積みしているとも言われていました。

海外では「脱原発」の動きが活発に！

6月にイタリアで行われた原発再開の是非を問う国民投票は、原発再開への反対投票は、94.05%に達し、国民投票は成立しました。

欧州ではスイスとドイツ両政府が将来原発を廃止する方針を決めており、インドでは原発に反対する世論が高まっています。

日本政府も脱原発方針で一致し、原子力に頼らないエネルギー政策を推進せよ！

原子力発電所は、核爆弾製造のためにはなくてはならないものですが、核分裂反応によって生成された「死の灰」は、生命を脅かし環境破壊しか生み出しません。

私たちは、これ以上未来の子供たちに「死の灰」の遺産を増やしてはいけません。戦争のない平和な世界を目指し、脱原発・反核の闘いを推し進めましょう。